



子どもたちが絵を描いたてるてる坊主が並ぶ＝豊橋市東新町で

空梅雨の原因？

豊橋 てるてる坊主120個

気象庁が七日に東海の市内三小学校の児童地方の「梅雨入り」を、さくらピアの利用発表してから半月ほど。真夏を思わせるような晴天が続く、例年であれば憂鬱な雨が待ち遠しい。

「もしかして大量のてるてる坊主のせい？」と気をもむのは、豊橋市東新町の市障害者福祉会館さくらピアの本田栄子事務長。

てるてる坊主百千個は、旭、八町、向山（相沢紀衣）

東三河地方は、週半ばには雨の予報となっているが、待ち切れない本田さんは「逆さてるてる坊主」の製作に取り掛かっている。空梅雨の解消なるか。

詩の風鈴も並ぶ。

知 新 聞

2017年(平成29年)6月20日(火曜日)

社会カラー

《8》

てるてる坊主もゆ～らゆら

豊橋の さくらピア 涼を呼ぶ「風鈴まつり」

豊橋市障害者福祉会館（さくらピア）で現在、「風鈴てるてるまつり」が開かれている。館内に飾られた素焼きの風鈴を、てるてる坊主も体を揺らしている。7月9日まで。

同館の夏の風物詩「風鈴まつり」は、6年前から続く地域交流行事。今年



館内に飾られた風鈴やてるてる坊主＝さくらピアで

東愛知新聞

平成29年6月20日(火)

活動する自主グループや地元施設利用者らによるてるてる坊主120個、近隣住民らが作った七夕飾りをそれぞれヒモに結わえ、館内に華やかに張り巡らせた。また、利用者が書いた短冊を結んだ笹飾りも設置した。

入口から入る風や空調の風で、風鈴が素焼きならではの優しく涼やかな音色を終日響かせ、館内の人たちに涼をプレゼントしている。

期間中の7月2日午後6時から、これら七夕飾りの下で「七夕織姫ライブ」を開催。「二胡のタベ」と題し、中村ゆみ子さんと胡之音会の皆さんによる「蘇州夜曲」「いつも何度でも」「翼をください」「365日の紙飛行機」「たなばたさま」などの演奏がある。入場無料で申し込み不要問い合わせは同館05332・53・3153へ。

(田中博子)